

長野県北部を震源とする地震における土木研究所の技術支援



- 平成26年11月22日22時08分に長野県北部を震源とする地震が発生し、長野県長野市、小谷村、小川村で震度6弱を観測する等、長野県北部地域を中心に強い揺れに見舞われた。これにより、負傷者44人、住家被害は全壊47棟を含む423棟に上る等(11月24日18時30分内閣府発表)、各地で大きな被害が発生した。
- この地震によって、長野県小谷村で地すべりが発生した。地すべりは家屋被害を生じさせるとともに、**今後の余震や雨等により、被害がさらに拡大化する恐れが懸念された。**
- 長野県からの要請**により、土木研究所では**地すべりの専門家**を派遣し、小谷村で発生した3箇所**の地すべりについて現地調査を行い、専門的見地から技術的助言**を行った。
- 土木研究所職員は、**現地調査で確認した地すべりの状況について説明**するとともに、**今後必要な地すべりの調査、対策の方法とその考え方等**について助言した。



地すべりによって地表に生じた亀裂を測定する
土木研究所職員(地すべりチーム)



地すべりによって被災した家屋



現地で地すべりの発生状況を確認する
土木研究所職員(地すべりチーム)